



【2019-06-26】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

4年間就活時代の到来？

長野修二

4年間就活時代の到来

新卒一括採用がすぐに壊れることはないと考えていますが、それでもグローバルに活動する大手企業の場合は、新卒一括作用から年間を通して随時採用する形態に代わっていくことは間違いのないところでしょう。

大手企業は現状でも経験者採用などは通年でおこなっており、都度必要に応じて採用することが当たり前になっています。おそらくですが、採用の中身、いわば採用理由はそれぞれ違っていることでしょう。欠員補充もあれば、必要な技術を強化する場合もあるでしょうし、新規事業の立ち上げといったこともあるのではないのでしょうか。

そこには新卒一括採用と違う採用の目的があり、必要な人材を獲得できるまで継続されるという長丁場の活動になります。採用手段も採用媒体への掲載もあれば、人材紹介のケース、ある友人や知人の紹介など、多様な採用方法を駆使して必要な人材を獲得することになります。グローバル環境では、むしろこのような採用形態が普通ですから、大手企業の採用はグローバルな形態にようやく近づいてきたということになるのでしょうか。

それでも日本社会で考えれば、新卒採用で大学4年間就職活動をするのは少ないと思われませんが、日本社会の横並び意識の強さからどこかの企業、とくに日本社会で影響力がある企業が通年採用をはじめると他の一般的な企業は、企業固有の目的を考えるとなく、このような4年間採用形態が日本社会全体に広まる可能性がないとは言えません。

とかく世の中に流されるのがこの国の社会に根付いた強固な意識でしょうか。

はたからみると、なんでこのようなことをやるの？と思うこともしばしばですが、このような環境の中でも経営者（創業経営者の極一部）の中には、真剣に考えて行動している人がいます。当然、このような経営者が存在する企業は着実に成長していきます。

また、世の中の流れと少しばかり違う独自性があります。

私の理想の経営者像かといえば、それも違いますが、少なくとも世の中の流れに身を任せた無責任な行動でなく、きちんと自分で責任を取る覚悟ができています。

だからこそ、このような経営者がいる企業は成長するのもわかりません。

多くの中小企業では、そもそも新卒一括採用などといった採用をしませんから、それほど影響はないでしょうが、4年間の就職活動ともなると案外中小企業にチャンスがでてくるようになるかもわかりません。

理由は、長い期間をかけて企業をみてまわることができるようになるからです。

新卒一括採用の場合、研修なども相当の期間を費やしておこないますが、中小企業ではこのようなコストをかけられませんから、どうしても経験者採用で人材を確保することになります。

4年間の就職活動であれば、学生の中には中小企業でアルバイトなどをしながら大学に通うような人間がでてくる可能性があります。

また、中小企業のオーナー経営者ほど決断できる（良い意味でも悪い意味でも）人間はいませんから、大学生との関係は想像を超えたエネルギーを創る可能性も大でしょうか。

現状と違うことをやるといろいろとネガティブなことばかりが風潮されますが、世の中が変化するということは、現状ではネガティブに感じていることからしかないわけでしょうから、変化が少ない我が国ですが、なにも考えず4年間就職活動の流れに乗る企業が現れることで社会に変化の兆しをつくることがあるのかもわかりません。

社会を見渡せば、人間とは合理的に生きている生き物でもなさそうです。

いろいろな不合理なことが多いようにも思われますが、そればか

に気を取られるよりも自分の軸足をもってシンプルに生きていく
ことも大切な時代ではないでしょうか。

【お知らせ】

パブー終了に伴い**2019年7月以降**、**Bccks**で「遊道楽歩」を発行します。

パブーで発行した一部の書籍は、**Bccks**私の書齋に移管しました。

Bccks書店名は、「遊楽堂」です。

今回発行分がパブー最終版です。

次回分の発行から**Bccks**を利用して発行します。